

開講日	2008年12学期 金曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B 研究棟1階 会議室1(12/5～1/16)	医	技	保
				●	●	○
コーディネーター	名古屋市立大学看護学部 高齢者看護学 山田紀代美, 原沢優子			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】高齢社会の中、病院における入院患者の6割は65歳以上の高齢者でしめられている。入院している高齢者は入院理由である現疾患以外に、加齢に伴う様々な生理機能の低下により、入院中の治療、療養生活に様々な影響をもたらしている。そこで、今一度、高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を再確認し、安全で質の高い高齢者の看護が実施できる能力を習得する。 【期待される成果】入院患者の6割以上を占める高齢者について、今回の高齢者の特徴や加齢からくる問題等を再確認することで、現疾患以外に加齢現象や環境との適応などの視点を加えた包括的アセスメント及びそれに基づく援助が可能となる。					
目標とする 資格						

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
高齢者看護の基礎知識	1	高齢社会と高齢者看護	高齢者の家族関係、社会との関わり等の変化の中で、加齢に伴う認知機能障害あるいは生理的機能低下等をもった高齢者の健康問題が、高齢者の療養や生活に与える影響等を概観し、その中の看護の役割について学ぶ。	12月5日	教授 山田紀代美 名古屋市立大学看護学部
	2	高齢者の感覚機能	高齢者の加齢変化の中で、特に聴力、平衡感覚の変化あるいは聴覚や平衡感覚に関する特徴的な病態を学び、それらが、高齢者の心理面や行動、生活に与える影響について学ぶ。	12月12日	准教授 中山明峰 名古屋市立大学医学研究科
	3	高齢者の感覚機能	高齢者の加齢変化の中で、特に視覚機能の低下及び最新の白内障の手術等の知識を学び、それらが、高齢者の心理面や行動、生活に与える影響について学ぶ。	12月19日	准教授 安川 力 名古屋市立大学医学研究科
	4	認知症に関する最新の知識 認知症の種類と症状、検査・治療	認知症に関する最新の知見をもとに、中でも最もその割合の多いアルツハイマー病を取りあげ、診断方法、中核症状、周辺症状とそれぞれの治療法について学ぶ。	12月26日	教授 小鹿幸生 名古屋市立大学医学研究科
	5	認知症高齢者の理解 認知症高齢者の世界を知ろう	認知症高齢者の行動等は、一見不可思議にうつるものである。しかし、認知症患者の視点でその状況を考えてみると、その行動にも理由があることが理解できる。このような認識の違いからくる認知症患者のとらえ方の転換を目指す。	1月9日	看護師 浅井 紫 国立長寿医療センター
明日から使える高齢者看護の知識とスキル	6	入院中の高齢者におけるリスクマネジメント	高齢入院患者や認知症を伴う高齢者の治療や療養上の様々な危険因子やあるいは事故予防を考慮したリスクマネジメントの意義と実際の方法等について学ぶ。	1月16日	看護師長 神野都志乃 国立長寿医療センター
	7	高齢者の看護アセスメント 1 加齢による生理的・機能的変化の理解	高齢者の健康状態を把握し、身体面のアセスメントを行う上で、加齢による生理的・機能的変化に関する知識は不可欠である。本講義では、機能の変化に加え、検査データの見方なども含め、臨床で使える知識の習得に努める。	1月23日	講師 原沢優子 名古屋市立大学看護学部
	8	高齢者の看護アセスメント 2 皮膚の生理的・機能的変化と創傷の治癒過程の理解	高齢者の健康状態を把握し、身体面のアセスメントを行うために皮膚の生理的・機能的変化に加え、高齢者に起こりがちな褥瘡の発生メカニズムやその予防及び介入に関する知識を理解した上で実際の観察技術について学ぶ。	1月30日	認定看護師 中尾敦子 名古屋市立大学病院
	9	高齢者の看護アセスメント 3 呼吸・循環器機能の看護アセスメント	高齢者の健康状態を把握し、身体面のアセスメントを行う上で不可欠な呼吸器系・循環器系の生理的・機能的変化に関する知識と実際の観察技術について学ぶ。	2月6日	講師 原沢優子 名古屋市立大学看護学部
	10	高齢者・認知症高齢者のコミュニケーション	認知症高齢者は、記憶障害とともに、言語機能の障害も起こってくることから、認知症レベルに応じた言語によるコミュニケーション方法および非言語的コミュニケーション方法について学ぶ。	2月13日	教授 山田紀代美 名古屋市立大学看護学部
	11	高齢者のアセスメント 4 経口摂取のための看護アセスメント	高齢者の健康状態をアセスメント、あるいは健康状態の改善に不可欠な嚥下機能の生理的・機能的変化に関する知識を学ぶとともに、観察技術及び実際の援助技術の習得を目指す。	2月20日	講師 原沢優子 名古屋市立大学看護学部
	12	高齢者のアセスメント 5 膀胱機能および失禁	高齢入院患者の排泄機能の加齢変化、さらによくある症状である過活動膀胱あるいは失禁等を取り上げ、それらのアセスメントおよび対処方法について学ぶ。	2月27日	教授 渡邊順子 聖隷クリストファー大学看護学部
今一度『連携』について考える	13	高齢者ケアにおける協働の実際(今後の連携についての考え方)	高齢者の入院あるいは退院には、家族や様々な職種等が関わる事が多い。それらの連携がどのように行われることが高齢者の健康状態やQOLの向上に必要なのかを、今後の動向をふまえて学ぶ。	3月6日	教授 近藤克則 日本福祉大学社会福祉学部
	14	高齢者ケアにおける協働の実際(地域・在宅での高齢者看護と病院との連携)	高齢者の入院あるいは退院には、家族や様々な職種等が関わる事が多い。それらの連携がどのように行われることが高齢者の健康状態やQOLの向上に必要なのかを、病院と訪問看護ステーション等の地域にある資源の活用等の視点から学ぶ。	3月13日	在宅療養介護相談室長 世古つよ子 名古屋市立東市民病院
	15	要介護高齢者の家族ケア	認知症を含めた要介護の高齢者の家族は、高齢者の多様な症状や必要とされる援助の提供に、様々なストレスを感じていると言われている。これらの家族の状況の理解とサポートの必要性について学ぶ。	3月27日	教授 山田紀代美 名古屋市立大学看護学部